



大森六中だより

令和5年 10月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



国際平和

9月21日は国際平和デーでした。本校で実施しているシビック・アクションの3つの課題の1つが「平和」です。9月25日の朝礼では、この国際平和デーを紹介し、2016年9月21日に俳優のレオナルド・デカプリオ氏が国連で演説する動画を視聴しました。

現在、ウクライナへのロシアの侵攻が止まらない情勢に加えて、10月7日にはパレスチナ自治区ガザ地区から、イスラエルに向けて大量のロケット弾が発射され、武装組織の戦闘員がイスラエル内に侵入し、多数の市民や治安部隊を襲撃・拉致しました。一方、イスラエル側もガザ地区への報復として空爆を実施し、地上侵攻が実施されようとするなど、紛争が激化しています。

こうした戦争や紛争で最も被害を受けるのは一般市民、特に幼い子供たちです。現地の報道の中で、ガザ地区で暮らす女の子が「どうやって生きていけばいいの」と涙ながらに訴える姿が映し出されました。

他方、戦争で利益を得るのは、武器を製造する会社や、流通させる商社です。その根源は、ダイナマイトを生み出したアルフレッド・ノーベルと言えます。

彼はニトログリセリンの小さい工場

を、父や兄弟たちと一緒に作りました。ところが大変な爆発事故が起こり、工場が破壊されたのはもちろん、彼の末の弟を含む五人の労働者が死亡しました。父親はこの事故にショックを受け、まもなく世を去ります。しかし彼は残った兄弟たちと協力して、この爆薬を安全なものにしようと研究に打ち込みます。安定性を増すために、紙、パルプ、おがくず、木炭、石炭、レンガの粉などさまざまな材料を試してもうまくいきませんでした。最後にケイソウ土にニトログリセリンをしみ込ませると安定性が増し、扱いやすくなることを発見しました。そして雷管（爆薬または火薬を爆発させるために、起爆薬その他を管体に詰めたもの）も発明し、この爆薬を「ダイナマイト」として市場に出し巨万の富を得ました。

ノーベルはこのダイナマイトの発明について後に次のように語ったそうです。

「永遠に戦争が起きないようにするために、驚異的な抑止力を持った物質か機械を発明したい」「敵と味方が、たった一瞬間で、完全に相手を破壊できるような時代が到来すれば……」「すべての文明国は、脅威のあまり戦争を放棄し、軍隊を解散させるだろう」

残念ながら、ノーベルの考えたようには世界は動いていません。

第二学年 社会科見学

第二学年は、10月5日（木）に社会科見学を実施しました。

池袋防災館では、災害時や緊急時に役立つ知識を実践的に学習しました。

上野では、五つの文化施設（国立科学博物館、東京国立博物館、国立西洋美術館、東京都美術館、旧岩崎邸）を班ごとに見学し、貴重な資料や文化財を実際に見ることで、学びを一層深めることができました。



池袋防災館：消火コーナー



池袋防災館：煙コーナー



池袋防災館：救急コーナー



池袋防災館：地震コーナー



国立科学博物館



旧岩崎邸



国立西洋美術館



東京国立博物館



東京都美術館

第一学年 移動教室

第一学年は、10月12日（木）13日（金）に移動教室を実施し、菅平に行きました。

1日目は、ダボスの丘へのハイキングを行い、その後、木のキーホルダー作りや球技大会を楽しみました。2日目は、懐古園を訪れて散策し、道中で釜飯を食べました。

清々しい大自然の中、お天気にも恵まれて、普段はできない体験をのびのびと満喫することができました。



ダボスの丘をハイキング。



気持ち良い原っぱでお弁当。



自然の中で遊ぶ貴重な体験。



キーホルダー作りに夢中。



楽しく活動できました。



球技大会に燃える！



宿のご飯はボリューム大。



懐古園を散策。



締めくくりは美味しい釜飯。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

大岡山駅前防災訓練



農援隊がお世話になっている大岡山北口商店街の防災訓練に参加しました。残念ながら2名という少ない参加でしたが、参加した二人は一所懸命活動しました。丸形マンホールの消火栓の開け方からスタンドパイプ設置の仕方などの指導を受け、実際に放水訓練を行いました。最初あまりの水圧に驚きの声が上がりましたが、その後は落ち着いて火を想定した目標物めがけて放水訓練を行いました。まずは、火事を発見したら「火事だー」と大きな声で応援を呼ぶことが大切であることを学び終了しました。備蓄用のクラッカーとアルファ化米をお土産にいただきました。

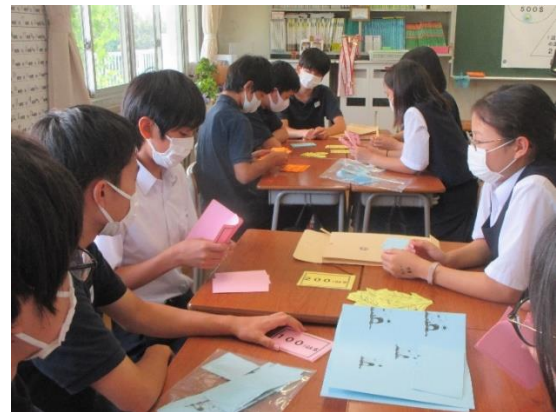
小学生部活動体験



今年度の小学生部活動体験が10月2日から

1週間の間で行われました。夏の暑い時期は外部活が困難であるとの判断で気温の低くなったこの時期に実施することとなりました。最初は授業後の時間帯でどのくらい集まってくれるのか不安でしたが、どの部活動も盛況で、中学生もかわいい小学生相手とあって、優しく指導に当たっていたようです。野球部 20 バasketボール 12 バドミントン 6 男子バレーボール 5 女子バレーボール 10 サッカー 9 男子ソフトテニス 5 女子ソフトテニス 3 陸上(雨天中止) 演劇 9 吹奏楽 5 美術 9 家庭科 6 自然科学 10 合計 延べ 116名の参加でした。

校内研修 研究授業



9月27日、令和5年度校内研修のテーマである「未来を創造する力を育てる」の一貫で行った研究授業がありました。

3300学級の保健体育の授業では「環境の汚染と保全」で自分にできること、企業の取り組みについて発表し合い、2100学級の社会科は「食ロスゲーム」の中で、2035年を想定した世界の事情から資源、経済の現状からとらえるパートナーシップについて考えさせる授業でした。また、2400学級の美術では目の見えない人の美術鑑賞を題材に、すべての人が平等に学ぶことができるための工夫を考える授業でした。